

# 実を結んだ 愛の一粒運動

飢えに苦しむアフリカ・ソマリア共和国の難民に米を送ろうという県内の青年ボランティア「アゲループ」「日本ユニセフ協会」「秋田友の会」(佐々木正光代表)が、一日から一週間にかけて展開した「愛の一粒運動」は、県内はもろろ全国各地からの善意もあって大きな実を結んだ。県内各地の小、中学校や公民館に置かれた米の収量箱は、子供たちや直所の主婦が持ち寄った米でいっぱい。この運動を知った親山報や静岡県などの関係者からも米や現金が寄せられた。青年たちは「これほど集まるとは思わなかった。皆さんの善意を必ず現地に届けます」と、秋田ならではの米の寄附に、うれしい表情を浮かべている。



箱いっぱいになった米を袋に詰める佐々木さんと子供たち＝刈和野小で

この運動は、会館がソマリア難民の悲惨な状況を伝える新聞や写真を見ることがきっかけ。地元に例へた人たちが、半信半疑で米を送ることを思っていた。米の現物寄附は民間では初めて、県下から輸送許可をとったばかり。

それだけに輸送方法や関手職などを種間も種出。計画が秋まつた昨年春から、佐々木さんは東京に足を運ぶと五回、米業者や外務省から輸送許可をとったばかり。

女、船社や日本ユニセフ協会の協力もとりつけた。他の会員はボスタやチラシを作ったり、学校、教育委員会などへ協力依頼の飛び入り、よびや要請にこころをこめた。

運動は一日から一週間、秋田市と限内七市町の小、中学校、公民館に設けられた米の収量箱は、一先きに集まった米を詰め、二先きに大曲市立大曲小では、ひと足早い寄附三千五百からほどほど、児童が米を手に学校、なかには一人で、五、十、二十の米を積み上げる。秋田市内の小、中学校や公民館でも、運動後二、三日で約千入りの袋が、一先きに集まった米を詰め、二先きに大曲市立大曲小では、ひと足早い寄附三千五百からほどほど、児童が米を手に学校、なかには一人で、五、十、二十の米を積み上げる。秋田市内の小、中学校や公民館でも、運動後二、三日で約千入りの袋が、



57.9.2. 朝日

市内各地の町村公民館には、現物米が詰められ、米を運んでいく主婦が、秋田市内の小中学校などでも、「米を運ぶのが、おもしろい」と、子供たちが、おもしろい表情を浮かべている。秋田市内の小中学校などでも、「米を運ぶのが、おもしろい」と、子供たちが、おもしろい表情を浮かべている。

## 秋田版

秋田支局 〒010  
秋田市山王 6-10-18  
代表 0185(2)2181  
広告代表 0183(6)4120

一通信部＝  
代手船沢 0185(2)5049  
01823(2)4030  
0186(4)24141  
能橋大塚 01837(3)2840

購読、配達のご用は  
秋田中央 0188(6)4522  
秋田東部 0188(3)7250  
秋田北部 0188(2)3024  
秋田西部 0188(4)2554  
秋田南部 0188(3)25451  
秋田中部 01837(3)3786  
秋田東部 01823(2)3049  
秋田西部 01876(2)0661  
秋田南部 01842(2)3064  
秋田中部 01852(4)4151  
秋田東部 01855(2)7612  
秋田西部 01855(8)2528  
秋田南部 0186(4)20432  
秋田中部 01862(3)2343  
秋田東部 01866(2)3467  
秋田西部 01824(2)1459  
秋田南部 01875(3)2964

## 県外からもお米 の難民へ学校でも協力相次ぐ

県外からもお米の難民へ学校でも協力相次ぐ。秋田市内の小学校でも、お米の難民へ学校でも協力相次ぐ。

秋田市内の小学校でも、お米の難民へ学校でも協力相次ぐ。秋田市内の小学校でも、お米の難民へ学校でも協力相次ぐ。

秋田市内の小学校でも、お米の難民へ学校でも協力相次ぐ。秋田市内の小学校でも、お米の難民へ学校でも協力相次ぐ。

## 夢

岡村 愛さん



夢は、空想の世界。ゆめの中だったら、いろいろなことが、できる。いたずらで、将来のたいものだって、いろいろなことできる。ゆめは、自分だけの世界。でも、ゆめって、うのは、すぐさめてしまふ。私は、ひとりのゆめの中。さめなければいいなあ。

(秋田市立小六)

夢は、空想の世界。ゆめの中だったら、いろいろなことが、できる。いたずらで、将来のたいものだって、いろいろなことできる。ゆめは、自分だけの世界。でも、ゆめって、うのは、すぐさめてしまふ。私は、ひとりのゆめの中。さめなければいいなあ。

夢は、空想の世界。ゆめの中だったら、いろいろなことが、できる。いたずらで、将来のたいものだって、いろいろなことできる。ゆめは、自分だけの世界。でも、ゆめって、うのは、すぐさめてしまふ。私は、ひとりのゆめの中。さめなければいいなあ。